

第1回銚子市子ども・子育て会議 概要

開催日時	令和元年7月1日(月) 午後1時30分から午後3時まで
開催場所	勤労コミュニティセンター 2階 ホール
出席者	13名 椎名会長、佐野副会長、岩田委員、長島委員、小林委員、中山委員、平幡委員、石橋委員、岡田委員、宮川委員、田中委員、林(玲)委員、加瀬委員、
欠席者	2名 林(元)委員、村田委員
事務局	8名 子育て支援課 山口課長、神崎補佐、高木主査 学校教育課 北村課長、井上室長 健康づくり課 岡根副主幹、岡崎副主査、三浦コンシェルジュ
議題	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議事 (1) 教育・保育の現状について (2) 放課後児童クラブの現状と課題について (3) 幼児教育・保育の無償化について (4) 第2期銚子市子ども・子育て支援事業計画について (5) その他 4. その他 5. 閉会

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

(1) 教育・保育の現状について

(2) 放課後児童クラブの現状と課題について

(資料1)「平成31年度入園・入所児童数」

(資料2)「平成30年度・平成31年度放課後児童クラブ入所人数」

事務局より説明

委員	放課後児童クラブについて、土曜日は利用者が少数のため合同保育を実施。(現状報告) 支援員2名を配置しているが、今後は1名で対応の可能性について検討はいかがか。
事務局	支援員確保の課題は承知しているが、現時点では安全面を考慮し、従前のまま1支援単位2名の支援員配置とする。
事務局	保育所について、現在待機児童はないものの、年度途中の入所を考えるとかなり厳しい。
委員	園で受け入れた実習生を対象に、夏休み等のアルバイト募集を通じての保育士確保、採用への努力をしている。
(3) 幼児教育・保育の無償化について (資料3)「3～5歳児の保護者の皆様へ」	
事務局 (保育園分)	<ul style="list-style-type: none">・今年10月に消費税引き上げが実施の場合、保育無償化が実施。・保育所に通う3歳児(4月1日に3歳の子ども)クラス以上の保育料が無償化。・ただし、主食費(ご飯、パン、麺類)は今までどおり各園で集める。・今まで保育料に含まれている副食費(おかず代)を各園で決定し、新たに各園で集める。・年収およそ360万円未満の世帯は副食費の減免制度あり。・副食費減免の方の分については各保育園へ支出する運営費に加算し支払う。・副食費徴収について国は実費と言いつつも、主食費3,000円、副食費4,500円の目安の金額を提示。公立保育所の実費は4,500円以上かかっている。

事務局 (幼稚園分)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者あての文書を6月に各幼稚園を通じて配布。幼児教育の無償化は10月からスタートの予定。 ・市立幼稚園は4歳児・5歳児のみ受け入れのため、入園している全員が無償化の対象。申請手続きは不要。 ・現在の保育料の最高額が月額6,750円、年間で81,000円の負担軽減。 ・無償化の期間は入園から小学校入学前までの全ての期間。 ・給食費、行事費などの実費負担分は、これまでと同様保護者負担。保育所の説明と同様、給食費のうち副食費(おかず代)は、年収360万円未満相当の世帯とすべての世帯の第三子以降が免除。
	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の私立幼稚園の無償化について、私立幼稚園は満3歳(3歳の誕生日の前日)から小学校入学前までが無償化の対象。私立幼稚園は保育料、預かり保育の料金や給食費など、各幼稚園で設定のため、チラシの内容は、国が示している無償化制度に則った説明。 ・私立幼稚園の保育料、入園料(月額に換算)は、月額で合計25,700円を上限に無償化となる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・預かり保育のうち保育の必要がある3歳以上の子どもは、月額11,300円、日額に換算して450円を上限に無償化。 ・市民税非課税世帯については、満3歳児(3歳の誕生日の前日から3月31日まで)も無償化の対象。 ・給食費の負担軽減制度も、市立幼稚園同様に月額4,500円を上限に副食費(おかず代)が無償化。 ・なお、私立幼稚園に入園のお子さんの保護者の方は、無償化による給付を受けるための申請手続きが必要。 ・現時点で予定している内容は以上。今後、国からの通知や指導で変更となる点があるかもしれない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・実費徴収にかかる補足給付を行う事業について、第1期銚子市子ども・子育て支援事業計画に記載の13事業には未掲載だが、幼児教育無償化に合わせて、この10月からの副食費免除を実施。年収360万円未満の私立幼稚園に通うお子さんの世帯を対象に実費徴収の補足給付事業を行うという通知が国から出ており、今期計画にはないが実施となる。 ・次期の子ども・子育て支援事業計画には掲載。
議長	<p>検討課題として 公立保育所の副食費の金額設定についてどうか。</p>
委員	<p>副食費の実費額、国の示す4,500円の金額については。</p>

事務局	<p>現状、副食費は4,500円以上かかっている。</p> <p>国は副食費4,500円、主食費を3,000円と設定。</p> <p>銚子市の主食費は500円。副食費4,500円の場合、月5,000円で給食とおやつの提供は困難。国の示した主食費3,000円として副食費4,500円の計7,500円あれば充分だが、主食費は実際には500円。</p> <p>国は「主食費3,000円は今までどおり、実費で。副食費の免除者の分はそれ以上の金額の場合も4,500円のみ免除。」と示している。</p> <p>ので、副食費についてご意見をいただきたい。</p> <p>国と同水準の4,500円とすべきか、実際の金額とした場合4,500円との差額は保護者の方に負担していただく、免除対象者であるにも関わらず負担が発生することになるという現状が悩ましい。</p>
委員	<p>公立保育所の主食費500円は、どのような経緯で決定したのか。</p>
事務局	<p>主食費月額500円は実績。</p>
議長	<p>今のところ、4,500円以上で実績額ということか。ほかにご意見は。</p>
委員	<p>給食費は7,500円まではかからない。4,500円とは差はあるが実績の金額設定を検討しているということでしょうか。</p>
事務局	<p>そのとおりである。</p>
委員	<p>公立保育所と民間保育園とで差があるとは思いますが、ある程度は定めておいた方がよいのではと思う。</p>
<p>(4) 第2期銚子市こども・子育て支援事業計画について (資料5) 第2期銚子市こども・子育て支援事業計画について 事務局より説明</p>	
事務局	<p>次回、保育の量の見込みに関連し、公立保育所の統廃合について意見をいただきたい。</p>
委員	<p>事業計画を立てて5年が経過するが、どのあたりが計画どおりに出来たかなどのまとめは。</p>
事務局	<p>次回会議前にはお知らせする予定。</p>
<p>(5) その他</p> <p>「企業主導型保育事業」を介護事業会社が実施し、令和元年6月から開園。合わせて「病児保育室」もオープン。</p> <p>令和2年4月から、私立幼稚園1園が幼稚園型の認定こども園へ移行する予定で、現在準備を進めている。定員等具体的なことは検討中のため決まり次第、会議の中で報告の予定。</p>	

4. その他

5. 閉会